

ヒ-267-1

研究機関：広島大学

【ヒトゲノム・遺伝子解析研究】



と新規診断・治療法の開発

研究責任者名 広島大学病院 病理診断科 教授 有廣光司

研究期間 倫理委員会承認後 ～ 2025年3月

対象者

患者さんの手術等で摘出された標本のうち病理組織検査で使用しない余剰検体や解剖検体を研究のために使用します。対象の病気は膵腫瘍と十二指腸腫瘍、胆道腫瘍です。

山上 裕機（和歌山県立医科大学 外科学第2講座）
岡野 圭一（香川大学 医学部・消化器外科）
前場 隆志（JCHO りつりん病院）
中村 雅史（九州大学大学院医学研究院 臨床腫瘍外科）
吉住 朋晴（九州大学大学院医学研究院 消化器総合外科）
三森 功士（九州大学病院 別府病院 外科）
杉町 圭史（九州がんセンター 肝胆膵外科）
Ralph H. Hruban（Johns Hopkins Medical Institutions）
G. Johan A. Offerhaus（University Medical Center Utrecht）
田上 潤（タカラバイオ株式会社 製品開発センター）

試料・情報の管理責任者

大阪大学大学院 医学系研究科 医学専攻 がんゲノム情報学 谷内田真一

個人情報の保護について

本研究は広島大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会で審査を受けて承認をされています。研究は、プライバシー保護に十分留意して行います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に試料を提供したくない場合は以下の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3
広島大学病院病理診断科 教授 有廣 光司
Tel（またはFAX）：082-257-5590
E-mail：arihiro@hiroshima-u.ac.jp